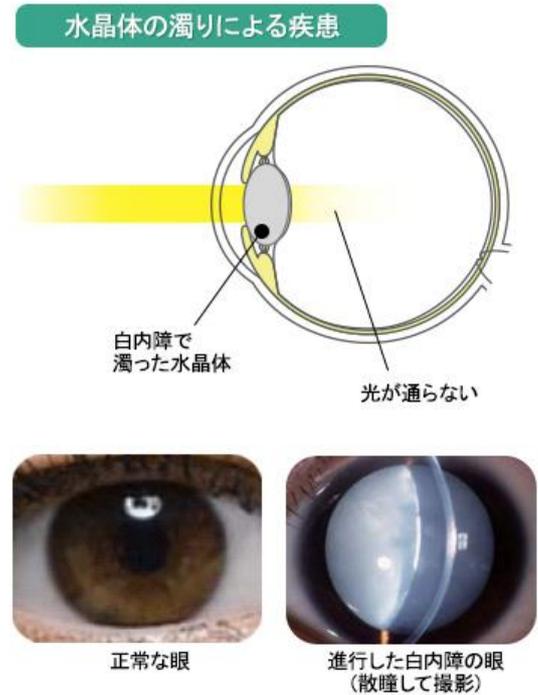


白内障とは

目の中の水晶体が、加齢などによって白く濁る病気が白内障です。私たちが目で見ている映像は、目の中の水晶体（カメラに例えるとレンズ）を通過した光が網膜（カメラに例えるとフィルム）で像を結んだものです。したがって水晶体が濁り始めると、水晶体で光が散乱するため、物がぼやけて見える、白く霞んで見える、まぶしく感じたりするなどの症状が現れてきます。さらに進行すれば視力は低下し、眼鏡でも矯正できなくなって、日常生活に支障が出てきます。



白内障の原因

白内障は、様々な原因で起こりますが、最も多いものは加齢によるものです。これは「加齢性白内障」と呼ばれ、個人差はありますが、誰でも年ととるにつれて水晶体は濁ってきます。「加齢性白内障」は一種の老化現象ですから、高齢者ほど多く発現します。

自覚症状や見た目には眼球が白く濁っていないなくても、検査をすると水晶体の濁りが見つかる方が、40代でも30%、50代で50%、80代ではほぼ100%の方に白内障が確認されます。

その他の原因としては、アトピー性皮膚炎や糖尿病などの疾患、外傷、ステロイドなどの薬剤、日光、喫煙などが挙げられます。

白内障の症状

- ⑩ 見ているものが霞んで見える
 - ⑩ 光がまぶしくなり、明るい所ではものが見えにくい

- ⑩ 一時的に近くが見えやすくなる
- ⑩ 眼鏡が合わなくなる（眼鏡で矯正しても見えづらい）
- ⑩ 見ているものが二重、三重に見える

白内障の治療

一度水晶体に発生した白い濁りは、点眼薬等では取り除くことができません。そのため治療は手術治療のみとなります。

白内障が進行して不自由を感じるようになれば、手術を行います。

白内障以外の病気がある場合は、その病気の状態を確認しながら手術の時期を決めます。

日常生活に支障がない程度でしたら、点眼薬により、白内障の進行を遅らせます。

但しこれらの薬剤は、水晶体が濁るスピードを遅くするもので、症状を改善したり、視力を回復させることはできません。

当院では日帰り白内障手術を行っておりますので、ご希望の方はお問い合わせください。